

大人もがんばる「こども壁画」作品の作り方

作品1「へんてこな形に名前をつけよう」

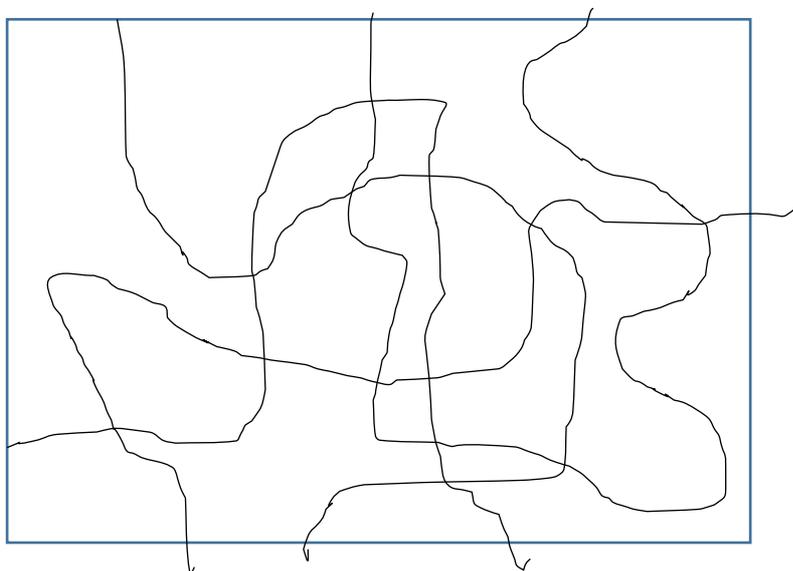
私たちはたくさんものものに囲まれています。そしてそのほとんどに名前がついています。身の回りのものを手にとって「これ何？」とまわりの大人に聞いてみてください。たいていの大人はその名前を教えてください(知らなくても検索してくれるはず…)。あなたの名前を誰かがつけてくれたように、山とか海とかハサミとかだって誰かが付けた名前です。

今回の活動ではまだ誰にも名前をつけられていない形を絵の中から見つけ出して、その新しい形の名付け親になってほしいのです。この形ってなんていうの？きっと大人は困ってしまうから新しい名前をつけてあげましょう！

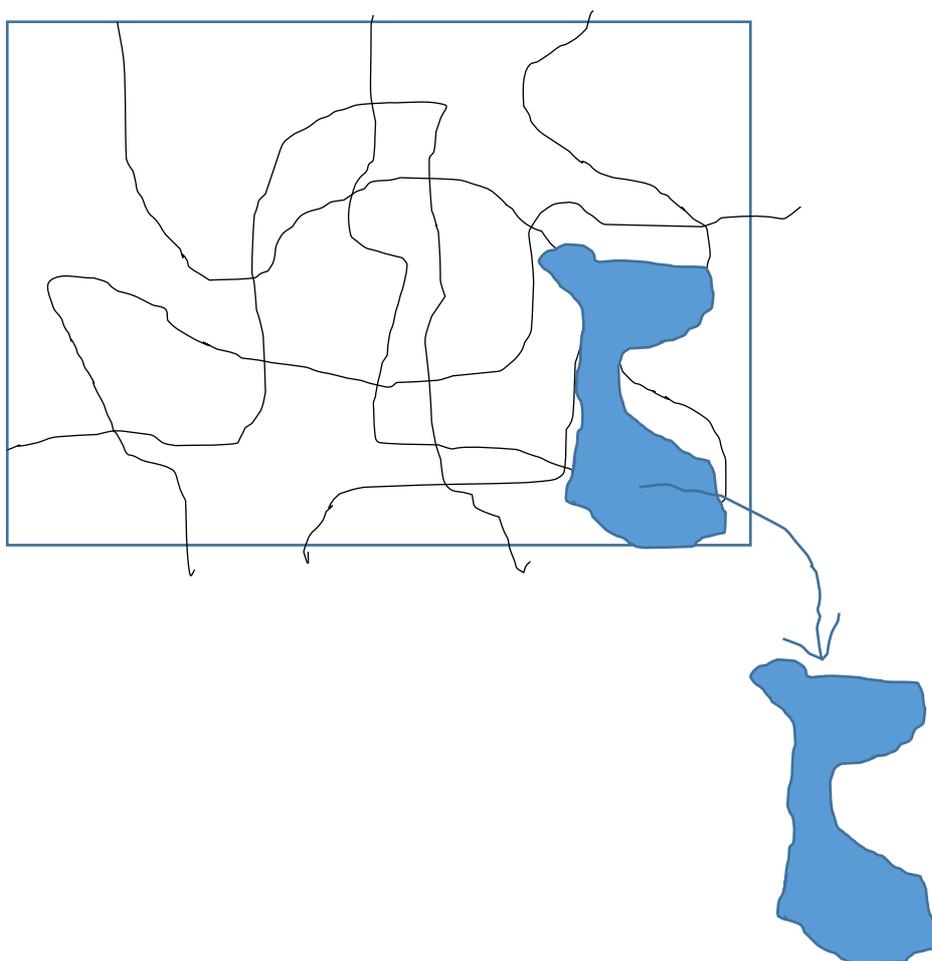
作り方：

- ① 四ツ切、又は八つ切サイズの画用紙に4本～6本くらいの線を引いてもらいます。
- ② 線は紙の端っこから始まって紙の端っこで終わって下さい。
- ③ 線は散歩に出かけるように引いてください。直線でも曲線でもかまいません。
- ④ 好きな形を選んだら切り取って下さい。
- ⑤ 選んだ形に名前をつけてください。

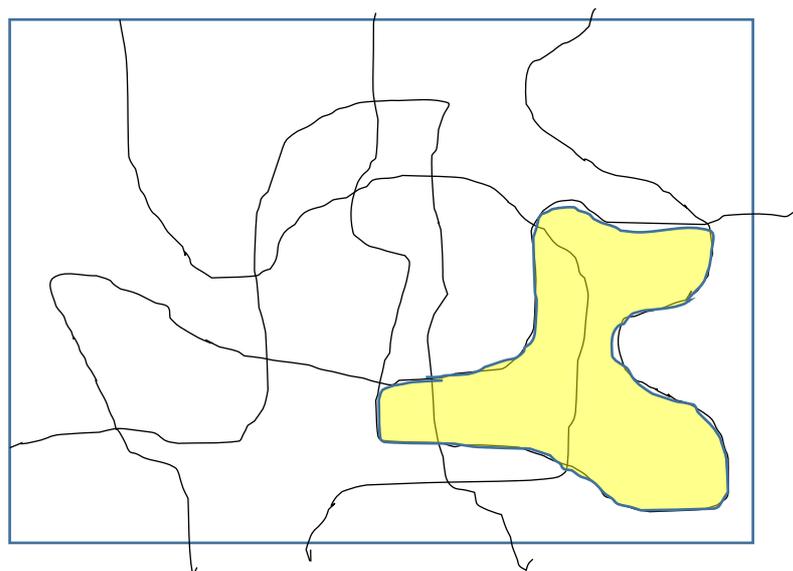
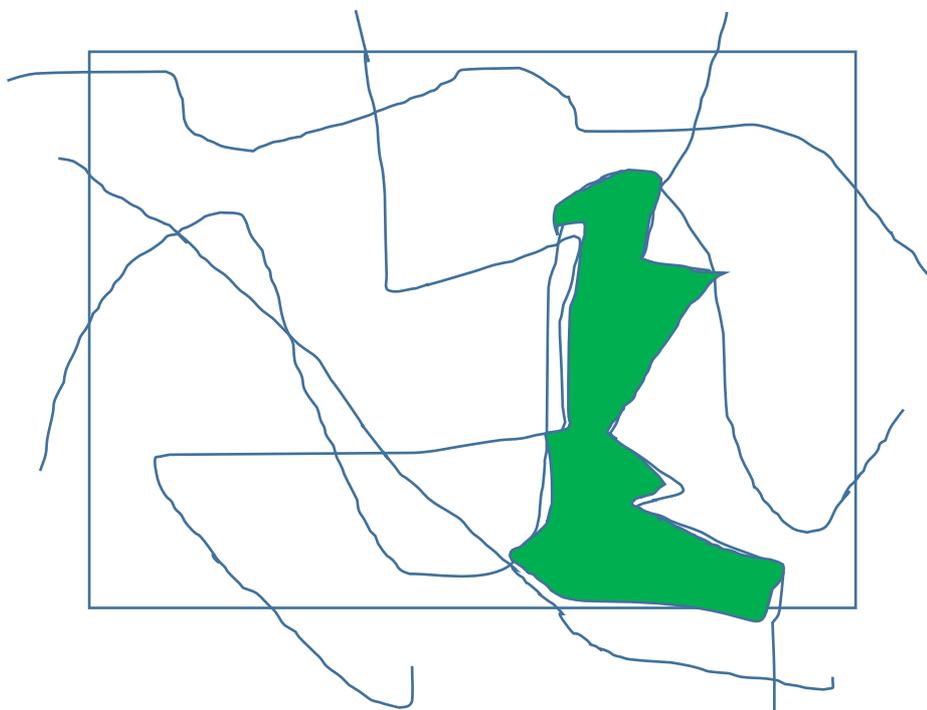
【例1】 4本~6本の線を画用紙の端から端まで自由に引いてみる



【例2】 おもしろいと思う形を選んで好きな色を塗り切りとる。



【例3】 図のように形をえらんでもよい

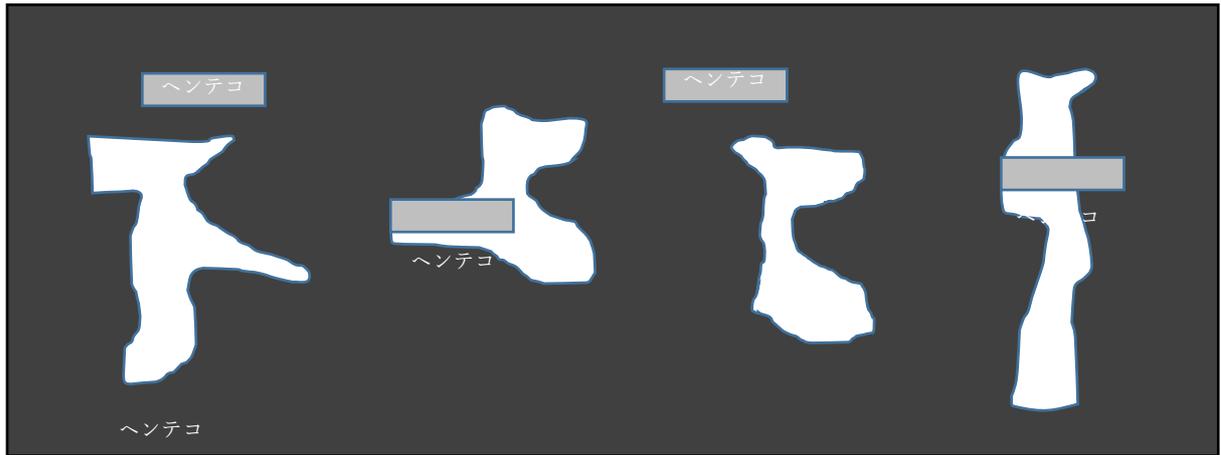


<完成予想図>

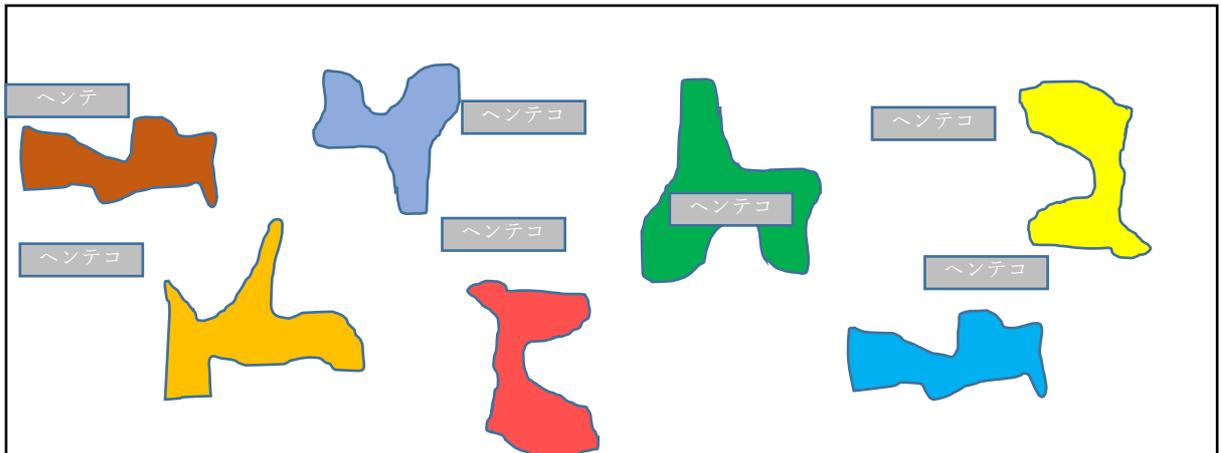
例1：黒い壁の場合

切り取った形は白 名前を書く欄は灰色字は白

切り取った形は子どもの身長と同じ大きさにする



例2：白い壁の場合



※壁面の色はまだ決まっています（白か黒）

作品2 「自分でつくった色に名前をつけよう」

あなたもってるクレヨンや絵の具の数は何本ですか？それら全ての色には名前がついてますね。きいろ、あか、みどり、あお、くろ、しろ…と名前があります。これら名前のある色と色をまぜたら何色になるでしょうか？まぜてできた色をなんて呼びますか？

今回の活動では、色を好きなようにまぜあわせて不思議な色を発見してほしいのです。そして、自分で作った色から感じたことをもとに名前をつけてほしいのです。

<完成予想図>

